

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

令和2年

3月14日(土)

時間：10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)



講師：福井県総合福祉相談所 保健師

テーマ：「コミュニケーションスキルアップ

～自分のくせ、関わりについてふり返ろう～」

内容：セミナー・ワーク・意見交換ほか

対象：働くことに悩みのあるお子さんを持つご家族の方

定員：20名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

【機関紹介】

「福井県総合福祉相談所」は、県民が心身ともに健康に過ごせることを目的に、人間関係や心身の不調などこころの相談に応じています。また、「ひきこもり地域支援センター」も併設されています。

日時：令和元年1月18日(土) 1月開催のセミナーレポート

テーマ：「人はなぜ、足を留め、腰を下ろし、時にうずくまるのか？
一緒に考えませんか。Q&Aでスタートしましょう。」

講師：家族カウンセラー 龍谿 乗峰氏

参加された保護者の方から、「子どもへの対応が間違っただのではないか。もっとしてやれることはなかったか。」という自責に悩んでいるというお話がありました。親御さんから、自分が子どもにとっての対応が本当によい選択だったのか悩まれる話をよく伺います。私たちは、しばしば「原因探し」をします。何が悪かったのか、そのことと現状を結び付けようとしていますが、「原因探し」は意味がなく、そのことにとらわれること自体が問題と言えます。

問題が生じたとき、問題の中心人物に焦点が集まりますが、その人やその現象だけが問題なのではありません。立ち止まる出来事は、これまでの流れをクールダウンして内面をふり返る機会であり、一歩ふみ出していく大切なプロセスでもあります。

悪いなかにもよいことはあります。目の前の出来事を否定的にとらえず、ものごとを肯定的にみることで、ご本人にも変化が訪れます。今、この現象はどういう意味があるか、立ち止まって考えてみると見えてくるものがあります。

「自立」することは、助けるだけでなく、助けられるという共助のなかで育っていきます。子どもは親をよく見ています。自責の念を感じ過ぎず、子どもの現状を肯定することで、とらわれた縛りから解放され好転していくと思われれます。



サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション (サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL: 0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com